

移民・難民に関する、国際関係・国際政治分野における近年の重要な研究傾向の一つとして、移民・難民、また越境移動のプロセスをいかに「管理」するか、という点への関心があるように思われる。ここでは日本語で「管理」という言葉をあてているが、英語では *governance, management, control* といった言葉が使われている。

移民・難民の越境移動は、非正規(*irregular*)と考えられる手段をしばしば伴っており、人身売買 (*human trafficking*)、密航 (*human smuggling*) といった問題を生んでいる。こうした移動により厳しい状況に置かれている人々の人権を擁護すること、移動の経路をより正規のものにしようとすることは、国際社会における喫緊の課題である。テロ・ネットワークのグローバルな広がりを持つ活動の先鋭化も、活動そのものおよび活動の結果に、移民・難民および移動のプロセスは密接に関わっており、グローバルな政治的対応が求められる事象であるといえよう。こうした人の越境移動に伴う負の側面への注目と同時に、ビジネスや観光などを目的とする移動は経済的利益に結び付くものであり、正規(*regular*)な移動として、できる限り移動の障壁をなくそうとする政治的動きがみられる。

非正規の移動、移動者をできる限りなくし、正規の移動をスムーズに行うこと、また移動者の人権を適切に保障するような移民・難民への対応、もしくは「管理」の試みには、さまざまな政治的アクターが関わっている。従来、人の越境移動を「管理」する主要な主体は国家であり、国境管理は主権国家の専権事項であると考えられてきた。しかし現在、国家は依然として重要なアクターであるものの、国際機関（国連など）、リージョナリズム（EU、ASEAN など）、NGO/NPO、（超国籍）企業といった、インターナショナルな、また非国家的でトランスナショナルなアクターもそれぞれの立場から問題解決への取り組みに携わっている。

連携による試みはどの問題に対してどのように行われているのか、立場や利害が異なるアクターの連携にあたっての問題点は何か、連携による試みは、実際に移民・難民の生活や人権の状況にどう影響を与えているのか。こうした点に関し、すでに研究の蓄積は一定程度あるものの、用語の定義や理論枠組みの整理、地域における現実の事象の比較考察に基づく共通理解の構築は、未だ十分であるとはいえない状況にある。本特集では、移民・難民をめぐる多くのアクターが関わる現在のグローバルな政治状況をより深く考察し、単なる事実の記述を越える共有知を得る一助となることを目指したい。本特集のテーマは多様なディシプリン、立場からのアプローチが可能である。意欲的な論考が数多く寄せられることを願っている。

論文の応募を希望される会員は、論文の仮タイトルと要旨（600～800字程度）、ご自宅とご勤務先の住所・電話・FAX・メールアドレスを明記し、2016年8月31日までに下記の編集責任者へメールでお送りください。検討の上、執筆をお願いする方には、2016年9月30日までにご連絡いたします。論文の最終提出の締め切りは2017年3月31日を予定しております。論文の分量は注を含めて2万字以内（厳守）です。最終的な掲載の可否はご提出いただいた論文を査読の上決定されますので、この点をご了承ください。本号の刊行は2017年8月31日の予定です。執筆要領につきましては、学会ホームページでご確認ください。要領を順守してご執筆いただければ幸いです。

<http://jair.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/documents/shippitsuyorvo.pdf>

お問い合わせ、お申し込みは、下記の編集責任者までお願いいたします。

《編集責任者》 石井 由香

《連絡先》 住所：〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

静岡県立大学国際関係学部

電話／FAX：054-264-5327（研究室直通）

E-mail：yishii☆u-shizuoka-ken.ac.jp

（☆を@に置き換えてください）